

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づく

教育委員会の点検・評価

(平成19年度対象)

平成21年3月

酒々井町教育委員会

1 はじめに

平成19年6月に、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、各教育委員会においては、毎年、教育行政事務の管理執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成19年度の教育委員会の点検・評価を行いましたので報告するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

酒々井町教育委員会委員名簿

職 名	氏 名
委 員 長	坪 内 東 公
委員長職務代理者	小 山 優 子
委 員	藤 崎 美津江
委 員	大 谷 文 男
委員兼教育長	欠 員

2 教育委員会会議の開催状況等

教育委員会会議は、原則として毎月1回「定例会」を開催し、必要に応じて「臨時会」を開催し、平成19年度は合計で13回開催しました。

- (1) 定例会・・・12回
- (2) 臨時会・・・1回

3 教育委員会会議での審議状況

酒々井町教育委員会行政組織規則第7条の規定に基づき、平成19年度は合計で45件について審議しました。

- (1) 教育委員会規則及び訓令を制定及び改廃・・・・・・・・・・16件
 - (2) 予算その他議会の議決を要する事件についての意見申出・・・6件
 - (3) 職員の任免その他人事に関する事・・・・・・・・・・1件
 - (4) 附属機関の委員の委嘱・・・・・・・・・・9件
 - (5) 教育委員会の表彰に関する事・・・・・・・・・・1件
 - (6) その他、重要又は異例に関する事・・・・・・・・・・12件
- ※審議案件の他、報告事項27件、協議事項3件についても取り扱いました。

	審議議案	報告事項	協議事項	主な審議案件等
4月臨時会	1			教育委員の辞職同意
4月定例会	4	2	1	準要保護児童生徒の認定
5月定例会	5	1	1	私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部改正
6月定例会	5	2		放課後子どもプラン運営委員会設置要綱の制定
7月定例会	3	3		教科用図書採択
8月定例会	3	1		9月補正予算案
9月定例会	8	3		指定文化財の新規指定
10月定例会		1		教育行政報告
11月定例会	4	2		図書館開館時間の延長
12月定例会	2	2		放課後児童クラブ設置運営要綱の制定
1月定例会	2	2		教育委員会表彰の選考
2月定例会	4	1	1	新年度の当初予算案
3月定例会	4	7		行政組織規則の一部改正
合計	45	27	3	

4 事務事業の点検・評価の目的及び対象

効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たしていくために、平成19年度に教育委員会各課、教育機関において、各課等の運営方針として策定した「各課の目標」に掲げた36事業について、点検・評価を行いました。

5 点検・評価の方法

点検・評価の実施にあたり、教育委員会の点検・評価に関する検討部会（事務局職員）、教育委員会事務局の各課長及び教育委員会で内容を検討し作成した「事務事業評価表」により実施しました。

なお、法の規定に基づき、学識経験者3名にご意見をいただいています。

評価内容は、必要性、有効性、効率性を踏まえて、今後の方向性を、拡大、現状維持、改善、統合、期限付、休止、廃止の7段階に評価する方法で行いました。

(1) 評価のポイント

- 必要性・・・公的関与の妥当性（町が実施する必要があるか。）
 - 対象の妥当性（事業の対象は適切か。拡大、縮小の必要性はないか。）
 - 手段の妥当性（実施方法の見直しは必要か。統廃合は可能か。）
 - 事務事業の廃止（廃止した場合の影響はあるか。）
- 有効性・・・成果向上の余地（成果を向上させる余地はあるか。）
 - 指標の達成状況（成果指標の目的値に向けた達成状況はどうか。）
- 効率性・・・事業費等の削減の余地（成果を下げずにコストの削減は可能か。）
 - 受益者負担の見直し（受益者負担により一般財源を削減できないか。）

(2) 方針の分類（今後の方向性）

- 拡大・・・事業を拡大充実する。
- 現状維持・・・現状を維持継続していく。
- 改善・・・対応すべき改善対策を付して事業を継続する。
- 統合・・・独立した事業とせずに他の事業へ含める。
- 期限付・・・終期を設定して、そのまま事業を継続する。
- 休止・・・事業を休止する。（復活の可能性あり）
- 廃止・・・事業をやめる。

6 点検・評価の結果

事務事業評価表により点検・評価を実施した36事業の結果は、次のとおりです。また、詳細については、「平成19年度事務事業評価一覧表」を添付しました。

拡大	5事業
現状維持	26事業
改善	4事業
休止	1事業

7 まとめ

点検・評価を行った事務事業については、事業の目的に従い、計画的に実施されていることから、概ね適性かつ順調に執行されたものと判断しています。

ただし、事業によっては、改善が必要である事業、他の事業との連携を取ることで今以上の成果が得られる可能性がある事業等もありますので、今後とも更に町民の皆様のご意見を取り入れながら、高まる教育ニーズに対応することが必要であると考えています。

なお、今回の点検・評価については、法改正により今年度はじめての取り組みであったことから、次年度以降は、よりの確な取り組みができるように見直しを行い、改善していきたいと思えます。

また、今回の点検・評価の結果については、町ホームページによる公表を行いますので、町民の皆様からご意見等をいただき、今後の事務事業の執行に反映させていきたいと考えています。

教育委員会の点検・評価

平成19年度 事務事業評価一覧表

平成19年度 事務事業評価一覧表

単位：千円

課名	事務事業名	事業概要	決算額	成果・効果	今後の方向性	意見等
こども課 (庶務班)	酒々井小学校屋内運動場 改築事業	H20：設計、H21：改築工事を目指し、 先進施設の視察、酒々井小体育館建設環境 共生委員会を組織、事業内容の検討を実施	0	良好な教育環境の整備 防災対策の充実（避難場所） スポーツ振興	現状維持	児童の安全対策に 細心の注意が必要
	児童生徒用の机・椅子の 更新	老朽化した机・椅子の購入 酒々井小 机・椅子86組 酒々井中 机61・椅子77	1,701	新しい机・椅子の利用によ る学習への関心を高める。	現状維持	机・椅子に限らず 学校施設、備品等の 計画的な整備が必要
	教育委員会の責任体制の 明確化	教育委員会の議決事項と教育長の専決事項 の明確化	0	円滑かつ迅速な教育行政の 運営	現状維持	
	教育委員会会議の開催	法・町規則の規定に基づき教育委員会の 議決事項について審議 会議開催：13回 審議議案：45	2,006	円滑かつ迅速な教育行政の 運営	現状維持	
子育て支援班	しすいあいあいルームの 開設	子育て中の親子、地域住民の情報交換や くつろぎの場として役場内に開設	293	交流の場として、600人 以上の利用があった	現状維持	高齢者等との交流のため 一層のPRが必要
	放課後子どもプランの 推進	放課後子ども教室、放課後児童クラブを それぞれ運営	11,632	児童に安全な放課後の時間 を提供することができる。	拡大	子ども教室を充実すべき 事業を継続することが重要
	乳幼児医療費助成事業	保護者の経済的負担の軽減のため、乳幼児 の医療費を助成	19,743	受診件数 11,054件 助成金額 18,909千円	拡大	
保育園	時間外保育の充実（中央）	子育て支援の一環として、朝夕の時間外	887	利用者 437名	現状維持	
	〃（岩橋）	保育を実施 有料	2,837	利用者 1,356名		
	園庭開放（中央）	水曜日午前9時～11時に実施	20	開放35日 利用者79名	現状維持	
	〃（岩橋）	第2・第4水曜日午前9時～11時に実施	20	開放22日 利用者209名		
	公民館事業への参加 （岩橋）	公民館主催の親子で楽しめるミニ運動会に 保育士3名が参加 手作りの景品をプレゼ ント	0	同年代の児童を持つ保護者 の交流を深めることができ た。	現状維持	

平成19年度 事務事業評価一覧表

単位：千円

課名	事務事業名	事業概要	決算額	成果・効果	今後の方向性	意見等
(保育園)	乳児室の増設整備 (岩橋)	木造平屋建て 59.6㎡ (18坪) 乳児用の部屋を増設 床暖房、バスユニット 畳敷きのスペース ウッドデッキ	10,209	年齢にあった余裕のある 保育環境が整った。	現状維持	
	子育て相談の実施 (中央) // (岩橋)	子育てに悩みを持つ保護者に対し随時実施 電話による相談も実施	0	来園2 電話2 来園1 電話1	現状維持	相談件数が少ないので 事業のPRが必要
学校 教育 課	学校保健推進事業	児童・生徒及び教職員の健康診断 学校医による児童・生徒の検診 小学校就学予定児童の就学時健康診断	4,649	児童・生徒及び教職員の 健康の保持増進	現状維持	
	小・中学校スクールサポ ート事業	酒々井小：学校不適応児童の相談等 大室台小：特別支援の必要な児童へ個別指導 酒々井中：英語の少人数指導の担当者を配属	3,505	各小中学校でそれぞれの 教育活動が充実され、効果 があった。	現状維持	
	豊かな心を育むCTS プラン事業	各小・中学校の特色ある教育活動を行う ための補助を行う。	600	各小中学校の教育課程の 円滑な実施が図られた。	拡大	
	小・中学校教材用備品 購入事業	学校教育に必要な教材を購入し、教材備品 の整備を行う。	634	教材備品の購入により、 教育環境整備が図られた。	現状維持	
	学校図書整備事業	学校が必要とする図書の購入	892	学校図書の充実により、 児童・生徒の健全な発達が 図られる。	現状維持	
	スクールバス運行業務 委託事業	酒々井小の遠距離通学児童に対し、ふれ愛 タクシーをスクールバスとして委託し、 児童・生徒及の通学の交通手段を確保する。	8,034	遠距離通学の児童が、安全 安心に通学ができる。	現状維持	
	要保護・準要保護就学 援助費支給事業	小・中学校に通学し、経済的理由により 就学困難と認められる児童・生徒に対し、 学用品費や給食費等を援助するもの	7,446	義務教育の円滑な実施	現状維持	

平成19年度 事務事業評価一覧表

単位：千円

課名	事務事業名	事業概要	決算額	成果・効果	今後の方向性	意見等
学校教育課	ふれあい教室運営事業	学校適応専門相談員・学校・教育委員会が連携して、不登校児童・生徒への支援を行う。	3,775	適切な支援、指導により、不登校児童・生徒の解消に効果があった。	現状維持	不登校の解消には引き続き努力してほしい
社会教育課 (社会教育班)	生涯学習公開講座	順天堂大学生涯学習公開講座を印旛村と共同開催 全4回 親子30名参加	150	親子のコミュニケーションが図られる。	現状維持	
	家庭教育学級	小中学校の児童生徒の保護者が家庭教育を行う上で必要な心構え等を学習する。 義務教育終了、就学前の保護者対象も開設	956	家庭における教育力の向上 子育てのみならず、自己の今後の生き方を認識	改善	中学校卒業以降の保護者に対する町独自の制度は継続すべき
	子ども会事業	子ども同士の行事を通じて、子どもたちの健全育成を図る。球技大会、体験教室 ふれあい映画会など	741	子ども会の健全育成	改善	事業内容の改善、リーダーの育成など 体質改善を検討すべき
	青少年相談員主催事業	スポレク祭綱引き、愛のパトロール、夏の映画会、親子たこ作り教室等の開催により 青少年の健全育成に努めた。	923	青少年の健全育成、非行防止や保護者の相談に応じ、健全な家庭環境の育成	現状維持	
	人権教育	人権教育推進協議会を中心に人権教育・啓発活動を推進する。(人権セミナーの開催)	450	人権問題の解消を目指し、人権意識の高揚を図る。	現状維持	
(文化財班)	史跡本佐倉城跡調査整備事業	国史跡本佐倉城跡の活用に向けての発掘調査周知普及のための現地見学会や説明会の開催 公民館等における発掘成果の展示	20,284	国史跡の適正な保存管理と活用による町の活性化	現状維持	
	文化財保存事業	文化財審議会に諮り、重要な文化財の指定保存管理に必要な措置を行う。	1,495	町内の文化財の適正な保存管理及びその活用・普及	拡大	文化財を活用した事業を検討すべき
	歩き・み・ふれる歴史の道in酒々井	文化庁の主唱する歩き・み・ふれる歴史の道を誘致し、3コースのウォーキングを開催	500	町内外から700名の参加 多くの方に歴史のまちとしてPRができた。	休止 別事業で継続	

平成19年度 事務事業評価一覧表

単位：千円

課名	事務事業名	事業概要	決算額	成果・効果	今後の方向性	意見等
(社会体育班)	スポーツ・レクリエーションの推進	体育指導委員：生涯スポーツの普及 健康体力づくり推進員：健康増進 体育協会：競技力の向上	3,567	町民のニーズにあったスポーツレクリエーション活動の展開により、きっかけづくりが図れる。	改善	体力づくりと文化財の活用の連携した事業展開などを更に推進
	スポーツ施設の有効活用	町体育館、公共用地、学校開放等を各種社会教育団体に定期的に貸し出しをしている。	2,498	活動の場を提供することによる健康・体力づくりの推進	拡大	
中央公民館	学習機会の拡充及び学習活動の支援	講座12、イベント5（生涯学習フェスティバル、コンサート等）を実施 ふじき野地区への移動公民館の実施	483	町民が主体性を持って、地域やまちづくりに参加可能にしたい。	改善	カレッジコースの期間、テーマ等について検討が必要 ニーズ調査を実施すべき
学校給食センター	学校給食における食育の推進	小・中学校への給食指導・生活習慣病等の学習会の実施 給食だより（家庭向け含む）による知識普及	75	食という身近な教材を通して子どもたちに健康保持の重要性を認識させた。	現状維持	給食費の滞納整理についても努力が必要
	学校給食での地元産野菜の活用	給食に地元産野菜を活用する。	1,178	地元産の安全で新鮮な野菜を積極的に取り入れ、地産地消を推進した。	現状維持	
	給食センターにおける衛生管理	施設設備の改善 調理員等の衛生管理	2,995	食缶用の熱風消毒保管庫の購入などにより、衛生管理の徹底が図られた。	現状維持	
プリミエール酒々井	文化ホール利用者の満足度の向上	専門的知識を有する嘱託員の指導により、音響、照明等の操作技術の向上に努めた。	18,868	新規利用者、再利用者の増加が見込まれる。	現状維持	
	図書館サービスの充実と拡大	図書館相互の協力・連携 小中学校に対する読書の普及推進 図書館主催事業（講演会・資料展示等）による学習機会の提供	21,357	幅広い知的要求を満たすため、地域社会の情報センター、出会いの場としての機能を発揮する。	現状維持	図書館の蔵書については、限られた予算ではあるが、住民の要望に応えられるように努力すべき